

第21回
ふれあい
手作り
文化祭

力作ぞろい 絵画や 写真など

神奈川自治労連退職者会



フラダンスを演じる「こだま会」の会員



オープニングに神奈フィル
争議の仲間が演奏



フォークソングを歌う杉原克典さん



絵画コーナー



作品展示コーナーで

すごい、私も挑戦したい

神奈川自治労連退職者会の「第21回ふれあい手作り文化祭」が10月31日、横浜市従会館で10時にオープン。同文化祭実行委員会が準備してきたもの

で、参加者は述べ250人超の大盛況。午後3時近くまで、交流が続きました。3階の作品展示コーナーには、切り絵や写真、絵手紙、絵画、手芸、俳句、書、編み物等の力作が所せましと飾られ、閲覧者からは、「すごい作品ばかりだ」「私も挑戦してみたい」などの声も聞かれました。演芸会場の舞台では、歌や踊り、

リフォーム・ファッション、フラダンスなどが次々に披露され、テーブルでは、軽食をとりながら交流の輪ができました。こだま会員の文芸作品は、絵画5人、写真4人、俳句16人、川柳1人、絵手紙2人、葉書絵2人、書2人、手芸1人、戦争法反対行動写真1人、クローバーの押し花1人。演芸は、フラダンス5人、歌6人、田宮流居合抜き1人の計47人。これまでの最多参加者となりました。(鳥海敏雄)

おすすめの1冊

『流』

東山

彰良

著

1600円+税

第153回直木賞受賞。めったになく選考委員全員が推奨した小説。台湾に住む葉秋生(イエ・チョウウ)



講談社2015年刊

シエン)の青春時代を横系に、中国、台湾、日本の中日戦争後の時代と、

一族のルーツ探しを縦系とした壮絶な大河小説といえる。葉一族は大陸から台湾、そして日本へ流浪する。秋生の祖父は、蒋介石の死去の翌月、殺害されるが、その死を巡る一族の思わく…。秋生17歳、台北の高校生。幼馴染の友人とチンピラぶって荒れる日々。退学になって、軍魂部隊での兵役2年。兵

役を脱出して日本語を学び、日本に移り住み新天地を開く。1970年代の台湾を舞台にしたスケールの大きいミステリアスな作品である一方、秋生青年の青春小説とも言えよう。著者は台湾人。第11回大藪晴彦賞を受けている。(木村武子)

こだま俳壇 (10月)

自然薯の掘穴が抱く黙かな 田中 一男
 子らの声吸い込まれゆく秋の空 柳瀬 節子
 精根の鍬父墾く稲の波 小川 水草
 秋の浜網縫ふ男らの寡黙 鳥海 敏雄
 泥団子作る少女や秋茜 井村 友彦
 鳶職の交わす声高秋の空 木村 武子
 六十年語る友いて天高し 三井 光子
 稲を刈るその地で護る第九条 友井 眞言
 旅一日潮風に乗り秋茜 松尾佐知子
 赤蜻蛉心配そうに行き帰り 白井保次郎
 からからと枯葉ころがる先を行く 中村 桂子
 しな垂れて自由に生きる秋のまま 高橋 和江
 空青し萩のこぼるる小径行く 横川美代子
 棒立ちのスナツプ写真秋澄みぬ 坂 守
 子供づれママ旋風や秋桜 島田多嘉子
 もくせい香にさそわれて散歩する 鈴木志げ子

第61回 歴史教室 (散策)

小田原城総構を歩く

第61回歴史教室(散策)を9月30日に実施。小田原駅改札口前に10時に集合し「小田原城総構を歩く」の開始です。講師は生方武羅夫会員で、8人が参加。午後2時30分、小田原城址公園で解散しました。

はじめに

小田原北条氏の小田原城は、当時日本一の巨城で堅固を誇っていた。



小田原城前の広場で



改修工事中の小田原城

とりわけ、総構は(大外郭ともいわれる)東西約5km、南北約7km、周囲約20km。北から南西に丘陵地を、北東に湿地帯、南東は相模湾に面していた。東端は江戸口見附(山王川口)、南西端は早川口。今回は、お城の背部の丘陵地を約5km歩いた。



小田原城内の「慰霊塔」前で

〈散策コース〉
 小田原駅西口より城山(旧名谷津)を経由して、住宅街に入ると今回のコースとなる。
 1 城下張出
 総構から張り出された平場。ここから敵の側面を攻撃した。
 2 山ノ神堀切
 谷津丘陵を東西に分断し、堀が切

条氏の築城術に感服。

3 稲荷森
 竹林の中に丘陵の地形にそって、堀が巡らされている。深さ約10m。
 4 小峯御鐘ノ台大堀切
 幅20mの空堀は圧巻。底を歩いた。北

5 三の丸外郭部新堀
 小田原合戦以前に作られた遺構が残る。箱根連山、一夜城、相模湾の眺望抜群。歴史展望公園となっている。
 6 八幡山古郭・東曲輪
 戦国時代の小田原城の中心部。小田原城が眼前に。眺望抜群。

まとめ

秋晴れの中、コースからは小田原城、城下町、箱根連山、相模湾の眺望抜群。総構は空堀ばかり。駅への帰路、水をたたえたお濠をみてほっとした。

〈おわりに拙句を〉

北条城ハーフパイプに秋の風

(湯川 勉)



-45-

私は、1968年4月に入庁、16カ所の職場を経験し、2006年、企画部を最後に定年退職。現在「こだま会」幹事の2期目を迎えています。

◇◇◇
ピラミッドを始めとする古代巨石文明の遺跡を訪ねることは、少年時代からの夢であり、なかでも強く心を惹かれたのが、その当時、解読不能とされていたマヤ文字を残し、中米の熱帯雨林に消えた「マヤ文明」だった。

06年にペルー

(インカ文明)、08年にメキシコ(マヤ・アステカ文明)、09年にエジプト(ナイル文明)を旅行して、長年の夢を一応、叶えたのだが、メキシコはマヤ地域の北部を占めるにすぎず、中南部地域にも数多くの遺跡が知られていたことから、今年3月30日

グアテマラ・ホンジュラスのマヤ遺跡を訪ねて

一杉 雄二



4月6日の日程でメキシコの隣国であるグアテマラとホンジュラスを訪ねた。グアテマラは、1954年にCIAの関与で親米独裁政権が樹立された後、60年からの36年間、内戦が続き、同国や周辺のマヤ遺跡観光の環境が整ってから、まだ10年も

経ってはいない。

◆コパン

グアテマラ国境に近いホンジュラスにあるマヤ古典期(AD250-900)の代表的な王国の遺跡。王国の歴史を語る22000字以上のマヤ文字が刻まれた、神聖文字の階段



▶アンティグア・グアテマラのプロセッショント花じゅうたん

▲ティカル遺跡の神殿

を始め、芸術性に富んだ遺物から、マヤのアテネと呼ばれる。

◆キリグア

グアテマラ東端にある広大なバナナ農園の真中から多数のステラ(石碑)が発掘された。8世紀に栄えた

王国の遺跡

で、王の肖像や事績等をマヤ文字で刻む石碑の中で最大のものは、高さ10メートルを超え、重さ30ト以上という。これらの石碑の一つに2012年12月21日で終わ

る5000年周期のマヤ歴のことが刻まれており、この世の終わりがマスコミを賑わしたことは記憶に新しい。

◆ティカル

2000年近い年月(BC9世紀-AD10世紀)、人が定住したマヤ

中部地域最大の王国の遺跡。淡路島の面積にほぼ等しいティカル国立公園の密林には、未発掘の遺跡が多数残る。遺跡中心部には、鋭角的な形状を特徴とする高さ数十メートルの神殿ピラミッド5基が建ち並び、最大のものは70メートルを超える高さである。

◆アンティグア・グアテマラ市

最後はアンティグア・グアテマラ市を訪ねる。古い首都で、碁盤の目の街並みに教会等の宗教施設が多数残っている、まるで「京都」だ。折しもカトリックの復活祭。今や国際的観光行事となった、石畳の街路を飾る花絨毯を踏みしだいて、十字架を背負ったキリストの行列が進む「プロセッション」を観た。

16世紀のスペインによる征服後、カトリック司祭の手でマヤの絵文書は悉く焼却された。それ故、神殿や石碑に残るマヤ文字は解読不能とされていたが、ここ数十年の研究の進展で今は、7/8割の文字が読み解かれているという。

神奈川自治労連退職者会 第23回定期総会



新役員を決めスタート

今年10月施行の「マイナンバー(個人番号)制度」。全国民に付けられた番号の「通知カード」が、市区町村から簡易書留で送付されました。そこで問題点等を考えてみました。

「番号通知カード」は大事に保管を 「個人番号カード」申請は任意

市区町村から世帯主宛に家族人数分が送られてきた「番号通知カード」。カードの番号、氏名、住所、生年月日、性別の確認をして、特に「個人番号」を知られないように保管しましょう。

「個人番号」は役所や勤め先などから番号の提供を求められた時などに提示しますが、「番号通知カード」の場合は、本人確認のため運転免許証などが必要になります。「番号通知カード」と一緒に「個人番号カード」の交付申請書も同封

戦争法 廃止を

年金・医療・ 福祉の充実へ

神奈川自治労連退職者会は10月16日、横浜市従会館で第23回定期総会を開催。神奈川自治労連の水野博委員長から連帯の挨拶を受け、論議に入りました。

開会にあたって植木真理子会長

されてきますが、申請は義務ではなく任意です。「番号通知カード」があれば一般的な行政手続きは可能です。必要がなければ申請しなくてもかまいません。

「個人番号カード」は写真添付面に氏名、住所、生年月日、性別などが記載され、裏面に個人番号とICチップがついているので、個人番号

危険が いっぱい

マイナンバー制度

を求められた時に提示でき、身分証明にもなります。その分、紛失や盗難にはくれぐれも注意が必要です。

徴税強化や社会保障給付の 抑制などに活用されるマイ ナンバー

2016年1月から、医療保険、

(こだま会)は、「安倍改造内閣は一億総活躍担当相をつくったが、保育・医療の負担増で子育て世代は大変、高齢者世代も介護・医療費の負担が高くて精一杯の生活だ。一人ぼっちが増えていくのか」と指摘しました。各議案の提案後、質疑討論。こだま会からは、県職員九条の会と連携したとりくみや、戦争法案反対の行

介護保険、雇用保険などの社会保障、確定申告、被災者生活再建支援金などの災害対策の手続き、預金口座や特定健診などで使います。

年金については、個人情報情報の流失問題を受けて、安全対策をとるとして「マイナンバー」との連携を最長2017年まで延期をします。事業所は給与などの書類に雇用者

の番号を記載するために、従業員に番号の提供を求めますが、従業員からの提供が得られず、記載がなくても書類は受理されます。

ただし、政府は健康保険証や公務員の身分証明証との一体化など利用範囲を拡大し、番号記載を半ば強制的に義務付けすることで、国民一人

動、神奈フィル争議支援、10月施行の危険なマイナンバー制度問題。横浜市従退職者会は、横浜市のカジノ誘致の問題。鎌倉市役所退職者会は職員との給与削減条例問題等のとりくみを報告し、方針を補強しました。戦争法廃止と年金・医療・福祉の充実をめざす方針や新役員を決め、運動をスタートさせました。

(鳥居伸太郎)

ひとりの懐具合を把握し、税務署の徴税や社会保険料の徴収強化、社会保障給付の抑制に活用しようとしています。

危険いっぱいー国民にメリットなし

「マイナンバー」の事業者管理は厳しく規制されますが、事業者にとっては12桁の「個人番号」に付随して顧客管理のビッグデータを構築でき、事業活動に生かすチャンスになります。

当然各種データを不正取得したり、売買の対象になることも予想されます。

始まった「マイナンバー制度」ですが、不都合が大きくなるにうちに国民の声を寄せて、取り止めることも視野に入れていく必要があります。(鳥居伸太郎)



横浜地方公聴会が開かれた新横浜プリンスホテル周辺で座り込む人たち (9月16日)

戦争法反対 の政府を

党派を超えて、立憲主義 民主主義を守ろう

こだま会は、総がかり行動実行委員会
の呼びかけに応じて国会前の抗議行

動に参加し、33人の会員が集まりました。国会前には60年安保以来の12万人の国民が集まり、一連の行動のなかでは最大の規模になりました。

◇ ◇ ◇

私も何回か国会前に行きました。

そのたびに感じたのは、高齢者、中年、若者、子ども、学生、乳母車を引いたお母さん、サラリーマン、車いすの人、弁護士、学者、芸能人、お坊さんなど、幅広い層からの参加が見られたということです。

個人や夫婦、友人と誘い合って参加しているというように感じました。普段デモなどに参加したことのない人たちがやむにやまれぬ思いをもって国会前に集まったのではないのでしょうか。党派を超えて、立憲主義や民主主義、第9条を守ろうとして行動を起こしたのだと思います。そのなかには与党公明党の支持母体でもある創価学会の旗もありました。



▲小雨降る中12万人が国会を囲んだ(8月30日)

▶連日抗議行動が続いた



こだま会の会員への参加呼びかけは1回だけでしたが、個々にはいろいろな機会に多くの会員が参加したようです。私も新横浜プリンスホテルの地方公聴会を含め、複数回の抗議行動に参加しましたが、「30回も参加した」という会員もいました。そして、80パーセント近い国民が、

「審議は未だ尽くされていない」と考えているにもかかわらず残念なことに強行採決されました。安倍首相自身も、「多くの国民がまだ理解していない」とし、今後国民の理解を得るよう説明すると言っていました。しかし、今現在では「一億総活躍

社会」や2020年までに「GDP 600兆円」など、わけのわからない実現不可能な政策を突如いいだしています。特に「GDP 600兆円」は経団連や日商のトップが実現は難しいと発言しています。来年の参議院選に向けて、「戦争法」から国民の目をそらすため、苦しまぎれに無理やり考え出した政策だと思っています。

「戦争法」について国民の理解を得るよう努力すると発言しておきながら、今ではなるべく「戦争法」には触れないようにしています。これは大変不誠実であり、国民はすぐに忘れるだろうという国民を愚弄する態度だと思っています。

来年3月には、南スーダンのPKOでの武器を持った駆けつけ警護が可能になり、自衛隊の戦闘行為が現実の問題になってきます。

私たちは小さな力ですが、共産党が提案している野党の選挙協力が、うまくいくように応援(民主党などに意見を送る)したい。毎月19日には国会前の抗議行動があるので、できるだけこれに参加し、また、『こだま会報』などを通じて会員へ反対の意思を伝えるなど、あらゆる機会に反対の意思を発信し続けていきたいと思います。

(友井眞言)

予告!! 予告!! 予告!!

●第62回歴史教室(講義)

とき 12月2日(水) 13時30分~16時30分
ところ 県庁本庁舎6階共用会議室
テーマ 足利直義の人間像
講師 生方武羅夫(会員)
会費 無料。初めての方歓迎
申込先 こだま会事務所045(212)3179 または佐藤喜治045(361)0112

●俳句サークル「こだま句会」

月例句会(毎月第2木曜日13時~)
12月10日/1月14日
ところ 県庁本庁舎6階共用会議室
指導 太田土男先生(俳人協会)
会費 800円
申込先 こだま会事務所045(212)3179 または井村友彦0463(81)4493

●食文化を楽しむ会(薬膳料理)

とき 12月3日(木)11時~
ところ 横浜市西区センター調理室
内容 風邪に負けない薬膳料理
会費 2000円
講師 亀井禎子会員
申込先 こだま会事務所045(212)3179

●こだま会企画「てく・テクの会」

とき 12月3日(木)10時
JR新橋駅烏森口改札前集合
ところ 「築地市場と江戸散歩」
内容 隅田川、築地本願寺、かちどき橋、歌舞伎座など周辺を散策
費用 交通費等各自負担
申込先 こだま会事務所045(212)3179

高齢者のくらし・医療・介護
平和と民主主義を守ろう



こだま会の報告をする植木眞理子代表

議長に愛知県半田市職労退職者会副会長の鈴木孝雄氏を選出。城田尚彦会長の挨拶に続

この自治体職場の退職者の全国的な連絡会が1998年に名古屋大会で結成され、今年再び名古屋での大会となり、感無量との加藤利秋事務局次長のあいさつでスタート。

植木眞理子代表幹事、並木まり子幹事と私の4人で参加しました。この自治体職場の退職者の全国的な連絡会が1998年に名古屋大会で結成され、今年再び名古屋での大会となり、感無量との加藤利秋事務局次長のあいさつでスタート。

田尚彦会長の挨拶に続いて2014年度活動報告、決算報告、会計監査報告、2015年度活動方針案、20周年記念誌に関する特別報告案、2015年度予算案が提案されました。その後、愛知、大阪、京都、東京、岩手など10人から気迫のこもった発言がありました。

参加者からは、原発事故の教訓がいまのまま再稼働されようとしていること、非正規雇用労働者が増大し貧困や格差が拡大していること、貧困対策や教育にほとんど力を入れず、憲法を踏みしめ、民主主義を危機にさらす安倍内閣の暴走は許せないという怒りの声や、このまま見過ごしては行かない、運動を進めていかなければ日本の未来はない、二度と国民を戦争に動員する役割は担わせないという自治体労働者の熱い魂のよう

なものが伝わってきました。また、会員へのアンケート活動を通じていろいろな意見を把握し、競争体験を聞く会や憲法9条を守る集会を開いたこと、暴雨災害地での被災者支援や復興活動などの多彩な活動が行われていることが報告されました。

当会からは植木眞理子代表が、定期発行している『こだま会報』の紹介や、神奈フィル争議の署名運動などを訴えました。すべての議案と役員体制は拍手で承認され、予定時間内に終了。高齢者のくらしや医療・介護、年金、平和と民主主義を守らなければならないという姿勢や努力に、大いに励まされる大会でした。(中嶋ひとみ)

全国自治体退職者会連絡会 第18回定期総会

全国自治体退職者会連絡会第18回定期総会が8月22日、名古屋国際会議場で開かれました。北は岩手県から南は北九州市や広島県の46人が参加。当会からは加藤利秋顧問(全国自治体退職者会連絡会事務局次長)、

楽しい料理教室

とき ●11月21日(土)11時~15時(予定)
ところ ●フォーラム南太田(横浜市男女共同参画センター横浜南)
会費 ●2000円
献立 ●鮮度抜群、相模湾の釣りたてイナダ料理(前日の海の状況により中止の場合もあり)/鶏の梅照り焼き/肉(豚)味噌など
申込先・担当 ●仲戸川 (080-3001-8174)まで

映画随想 13

山本周五郎は、それまでの大衆小説から大衆文学へと地位を高めた小説家として知られる。没後50年を経過したが、その作品は今も読み継がれ、映像化や舞台化が続いている。また、純文学と大衆文学との区別を無意味なものとした作家、との評価も得ている。

黒澤明も周五郎文学を愛し、『日々平安』(映画『椿三十郎』)、『赤ひげ診療譚』(同『赤ひげ』)、『季節のない町』(同『どですかでん』)の3作品を映画化した。

さらに、脚本として、『おごそかな湯き』(『雨あがる』)、『つゆのひぬま』(『なんの花か薫る』)、『海は見ていた』、『町奉行日記』(『どら平太』)を遺すなど、周五郎文学への傾倒がうかがわれる。脚本3作品は黒澤没後にすべてが映画化され、いずれも

高い評価を得た。

黒澤の3作品のうち、『赤ひげ』は黒澤映画でも破格の作品である。主人公を悪政に挑む人物として捉え、貧困こそ諸悪の根源だと主張させたヒューマニスト黒澤の到達点の作品とされる名画である。この映画を観た周五郎もそのできばえを絶賛



山本周五郎と黒澤明

田中 一男

し、公開時のパンフレットに賛辞を寄せている。

周五郎が『赤ひげ診療譚』を雑誌に発表したのは昭和33年、55歳の時。黒澤が『赤ひげ』を完成させたのは昭和40年で、これも55歳である。

今年、東宝系では、「午前10時の映画祭」として『赤ひげ』

の県内上映を実施している。デジタルの上映版で、50年前に公開された当時の鮮やかな画面が驚きだ。

黒澤が周五郎作品を初めて手がけたのは、『椿三十郎』(原作『日々平安』)だが、これにはちよつとした経緯がある。当初は『生きる』や『七人の侍』で

助監督を務めた弟子の堀川弘通のために書かれた脚本だが、『用心棒』の大ヒットにより続編をとの会社側の強い要望を受け書き直した。『日々平安』では、飄々とした武士が主人公だが、『椿三十郎』では強い英雄とされ、まさに換骨奪胎の作品となった。あまりの変わりように黒澤

は、タイトルバックに原作者名と作品名をはずそうと考え、周五郎に伺いを立てたところ、かまわないとの返事を得たという。些末なことには鷹揚な周五郎らしいエピソードである。

周五郎は歴史物、人情物、滑稽物、恋愛物と多様な世界を舞台としているが、いずれも「心の琴線にふれる」と賞された作品である。周五郎は権威を嫌い、『日本婦道記』の直木賞受賞を拒否した。直木賞史上初めての出来事であり、大きな話題となった。全集の豪華本出版を許さず、廉価本を指示するなど、常に大衆の目線で消光した。

本町小学校を卒業した周五郎は、終生横浜を愛し、関内の「八十八」の鰻丼が好物で、64歳を一期として磯子で没した。私が愛してやまない作家である。

編集 後記

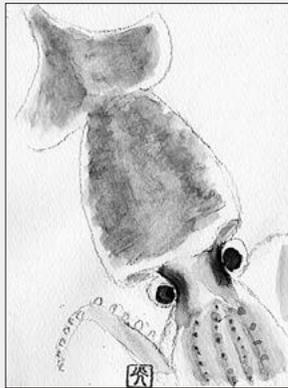
「アベ政治を許さない」という墨書が各地の集会等で掲げられている▼この墨書は、俳句界の重鎮・金子兜太氏(96歳)によるもの▼9月19日に「戦争法」は通ったが、反対運動は続いている。創意工夫した、あきらめない運動が続いている。(鳥)

絵手紙



奥津弘久さんの作品

葉書絵



三井光子さんの作品



山本正子さんの作品

会報No.110
2015.11.15

編集・発行 神奈川県職労連退職者こだま会
発行人 植木真理子

〒231-8588 横浜市市中区日本大通り1
県庁本庁舎6階

TEL 045-212-3179 (代表)
FAX 045-212-3178 (代表)
URL http://kodamakai.sakura.ne.jp/

Eメールアドレス kodama@kodamakai.sakura.ne.jp